

## 和やかな中でのスケッチ会

西支部 中村 均

10月23日(水)参加者20名で筑波山方面に向かって出発しました。今年の日帰りスケッチ会は、多数の参加者があり、例年と異なりバスを使っての実施となりました。

秋の雄大な筑波山を描く計画をたてました。出発にあたって一番の心配は大型台風27号と28号が日本列島に近づいていることでした。当日は雨も覚悟していました。しかし参加者の皆様の、絵を描きたいという強い気持ちにおされて雨には降られませんでした。

午前中は水辺に写る逆さ筑波をスケッチしました。午後は小貝川ふれあい公園に向かい、芝に腰をおろして和気あいの霧囲気の中で、雄大な筑波山を

スケッチしました。その後、下館美術館に寄り、絵や、工芸品等を鑑賞して充実した一日をエンジョイしました。

皆様のご協力ありがとうございました。



この間までここにコスモスが咲いてたんだって！

## 東海村文化祭が実施さる

事務局長 堀川 豊彦

平成25年度東海村文化祭の絵画彫刻展(第84回東海美術連盟展)が11月2日から4日までの3日間総合体育館で行われました。

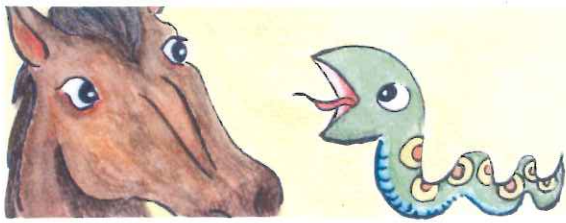
昨年同様の日和に恵まれ多数の方の来場を得ましたが、来場者数の増加傾向に対して、今年作品総数は実績で72点(会員54、彫刻7、一般・教室11)で、残念ながら昨年の79点を下回り、作品のサイズも全体的に小粒でした。また、第5回展を迎えた「東海村どごだわがっけ展」も、10名の方に依頼しましたが4名の方が不出品という結果になりました。会員の方々にも事情があるとは拝察しますが、皆様の積極的な参加と対策を期待いたします。会員の増加も急務です。

事務局と幹事一同、今後とも会の充実に向けて

努力いたしたいと思います。文化祭の後はアートロード展が控えております。これからの行事や展覧会に向けて頑張りましょう。



絵を観ながら話はずむ



北支部

高橋忠治さんに

Tea タイム

Q 新構造第85回記念展での文部科学大臣賞の受賞おめでとうございます。いつ頃から本格的な絵を描くようになりましたか？

A 絵は19歳から油彩画を始めましたので、53年になりましたか。中央画壇に出品するようになりましたのが意外と遅く、38歳の時で、この頃から現在の作品に近いイメージの内容で制作を行ってきました。

Q 今年は春から今までにないような体験をいくつかしたようですが、そのうちの一つをお話してください。

A 今年は凹凸の多い年でした。病気らしい病気をした事がなかったのですが、盲腸に近い腹部に魚の骨がささっていて入院しました。病気なのか怪我なのか医者に伺っても首をかしげるばかりで、有り得ない病気？でした。70歳を越えれば、色々な面で何でも有りと思うようになりました。

Q 好きな作家を教えてください。どういうところが好きですか？

A カンディンスキーとこの時代の作家が好きですね。目に映る景色や人物を心の内で反芻し、装飾的に画面に表現し、内面を意図した表出が好みでもあります。手段は違ってもこれからもこの様な作風で、今の生活環境に添った作品造りをとっております。

Q 絵を描く以外に好きなこととか、やっていることを教えてください。

A 若い頃から盆栽が好きで、今は庭木の剪定を、健康保持にもなるかと思ふ趣味の一つとしております。これがまた、絵画と共通する部分が多く、空間の生かし方など絵画そのものです。余分な枝を抜き、必要な枝だけを残し、その樹木の風情にあった樹形にする。またヘボ将棋も好きですね。対戦相手をお待ちします。

Q 絵を描いて良かったなあと思うことは？

A 何と申しましても人的交流の多いことです。他のジャンルの皆様とも芸術談義もできますし、現役で、別の社会で生活された皆様には教えられることが沢山あり、今の生活の支えになっております。

Q 来年に向けて抱負をお聞かせください。

A 美術連盟やアートロード連盟の会員、協賛店舗を増やしたいですね。若い人が絵を描かない。時代の変化なのでしょうか。ならば、現役を退いた方々に楽しみの一つとして絵画を勧め、豊かな人生を共有したく思っております。個展もやりたいですね。

宙の指環  
(新構造展文部科学大臣賞)



授賞式 今日格段と決まっていますね！

## Infomation

アートロードキックオフ	H26.1月25日	10時から12時 (村松コミセン)	アートロード会員
東海美術連盟研究会・新年会	1月25日	12時から4時ぐらい (村松コミセン)	美術連盟会員
アートロード展	2月1日~4月30日	(協賛店舗)	アートロード会員
アートロードギャラリー展	2月9日~2月15日	(絵画/彫刻工芸/華道)	(東海ステーションギャラリーA・B)
	2月16日~2月22日	(書/写真)	(東海ステーションギャラリーA・B)
アートフラッグ小品展	2月12日~17日	(リコッティ)	アートフラッグ会員
東海美術連盟コスチュームデッサン会	2月16日	(白方コミセン予定)	

### 【ギャラリー企画展】

山中宣明・津軽石信一展 1月5日~1月11日 (東海ステーションギャラリーA)

# 公募展だより

入賞・入選おめでとう  
ございます。

《日立市展》 9月7日~9月15日  
日立市シビック・マーブルホール



松尾 秀子 「明日を見る」



豊島 和久 「忘れられた舟」

《県展》 9月29日~10月14日  
近代美術館  
(県展洋画部門)



優賞 吉田 ミサラ 「秋」



奨励賞 木梨るみ子「ポーズする女」



奨励賞 山本 容子「なにげない日常」



神永 まさ子 「対話」



本多 清子 「ZAKURO」



川崎 敏子 「夏に」



松尾 秀子 「路上の娘」



木村 隆 「支える」

(工芸部門)



萩野谷 博 「起源」

《寄稿》

## 「彫刻洗い隊」の活動について

昨年度、東海村文化協会主催により、野外彫刻の理解と維持管理を目的とした「彫刻洗い隊」が提唱され、一般参加者を交えた講義と実技が開催されました。

東海村に設置されている野外彫刻の管理については、今年度から東海村文化・スポーツ振興財団が事業の継続をすることになりました。「彫刻洗い隊」の活動は、去る 11 月 9 日と 30 日に、昨年度受講された美術連盟有志 10 名により実施されました。

昨今の環境変化により、野外彫刻の中でも特にブロンズ彫刻は、酸性雨や排気ガスの影響を受けやすく、腐食や酸化（黒ずみ）が発生しやすい状況となっております。今回は、阿漕が浦公園と東海駅東口の作品 2 点の汚れを洗浄した後、蜜蝋塗布で表面を保護する最適のメンテナンスを行いました。

本事業の実施を通して、「文化の薫り高いまち東海村」として身近に設置された芸術作品への理解を深めると共に、作品の色や風合い等の著作権を侵害することなく、より良い状態で維持することにつながたく存じます。

11月9日  
阿漕が浦公園での洗い隊の作業風景

彫刻家・東海ステーションギャラリー企画員

北 沢 努

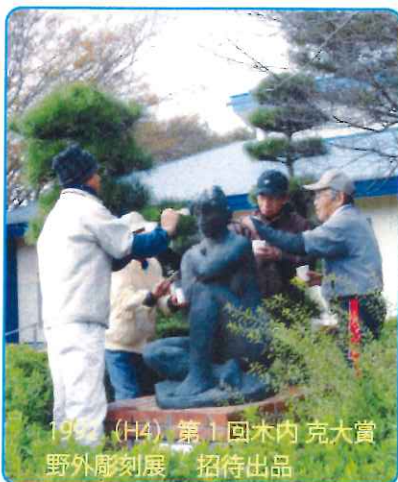


特別な洗剤で汚れを落とす。



1998 (H10) 第3回木内 克大賞  
野外彫刻展 東海村特別村民賞

駐車場のわきの高岡典男作「Flower」  
何回もバケツで水を運んでゴシゴシ、洗え！洗え！



1992 (H4) 第1回木内 克大賞  
野外彫刻展 招待出品

事務所前の木内岬作「まどろむ」  
蜜蝋を塗布して光沢が蘇りました。



洗いたい！とかけつけたメンバーと川崎教育長